



令和7年度 総会終了のご報告

新緑の香りがすがすがしい季節になりました。

皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。いつも「札幌家族の会」にご支援ご協力をいただきありがとうございます。

令和7年度定期総会は、4月24日(木)に開催いたしました。結果、すべての議案が承認されましたので、ご報告いたします。

さらに、役員を選任が行われ、新たな協力者1名が加わり、会長の私をはじめとした19名の役員体制で会の運営と活動をすすめることとなりました。

「認知症の人が安心して暮らせる社会」「介護者が幸せになれる社会」の実現に向けて、承認された計画に沿って会員の皆様と一緒に一年間活動して行きたいと思っております。総会議案書をお送りいたしますので、今後の活動につきまして皆様のご理解ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。



▲開会挨拶の大野孝会長



▲来賓のご挨拶をいただいた
道社協地域福祉部 亀川部長



▲総会は30名の皆さんに出席いただきました



介護体験 妄想の中に生きる母

～レビー小体型認知症の母との日々～

K. A (市外)

◆母の異変

90歳の母は10年ほど前にパーキンソン病と診断されましたが、当時は父と二人暮らしでした。

認知症の兆しを感じたのは、父が亡くなった7年程前。私は東京在住で、1～2か月ごとに一人暮らしの母を訪ねていました。

ある日、母に別れを告げ新千歳空港に着いた直後、母から「どこにいるの？」と電話がありました。1時間前に私を見送ったことを忘れていたのです。

◆施設への入所～通院先の変更

母は妹夫婦の家で夕食をとる日々でしたが、次第に足腰が弱り家で転倒したり、外出後に帰れなくなり近隣の助けを借りることもありました。

安全を考慮し、5年前に施設に入所しました。母は当時、T病院に通院していましたが、主治医は患者の顔を見ずに話すような人で、信頼できませんでした。

やがて母の顔がむくみ、首も支えられなくなり、常に下を向いた状態に。施設の看護師が問題視し、転院を提案してくれました。

転院先のM病院は対照的にホスピタリティに溢れ、母との対話を重視してくれました。

検査入院の結果、薬を一部中止したところ、むくみや首の傾きが改善し、本来の母に戻りました。驚きと同時に、医療の在り方を考えさせられました。

◆悲痛な電話～骨折

入所から暫く経つと、私や妹に母から「助けて」「死にたい」など、悲痛な電話が頻繁に来るようになりました。

母の苦痛に対して何もできないことに無力感を感じ、切なくなります。

1年前、転倒し大腿骨を骨折。手術を経て辛い寝たきりは免れましたが、歩行は制限され、以前のように一人で動くことは難しくなりました。

◆妄想

以前は時折だった妄想が、今では常態化し、現実顔を出す時間の方が少なくなりました。10年前に亡くなった姉に連絡しようしたり、他界した夫の帰りを待ったり、「ここはどこ？」と帰宅願望を訴えます。

以前読んだ本に、生死の境界は曖昧なものだという記述がありました。母はその境界に居て、ゆっくりと父の元へ向かっているのかもしれないと思うことがあります。

◆母の人生

若い頃、母は看護師として働き、単身赴任の多かった父とともに3人の子供を育て上げました。多少頑固なところもありましたが、家事を完璧にこなし、社交的で趣味も多いスーパー主婦だったと思います。

今の母を見ると切なくなる感情もわきますが、愛おしくもあります。

◆現在の状況と今後のこと

東京在住の私と、札幌在住の妹二人は、分担してなんとか母を支えています。

母は、悲痛を訴えることもあります。穏やかでいることもあります。

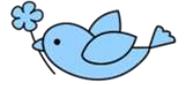
食事に毒を入れられたとか、お金を盗まれたといった被害妄想を訴えることが多くなりましたが、人格は昔の母のままです。

他の方々の介護経験と比べれば、私たちは恵まれていると思います。

いずれ攻撃的な言動を発したり、私たちのことも分からなくなる日が来ると思いますが、その覚悟はしております。



『4月のつどい』は中央区で開催しました



4月の「つどい」は、4月24日(木)中央区かでの2.7で、24名の参加をいただき開催しました。今回は、令和7年度総会終了後に開催しましたので、「ちょこっと学習会」はお休みしました。いつもの語り合いでの皆さんの発言概要は、以下のとおりです。

★要介護4の妻を介護 80代夫

入院中の妻の容体が安定しているので、介護施設を移ることを勧められて、今施設を探しています。また、健康保険と介護保険はどう違うのか、どんなサービスを受けられるのかなど、病院やケアマネさん、包括の方と相談する予定です。道外に住んでいる娘と息子も来道し一緒に聞いてくれる予定です。家族の会に来ると、いろいろな情報や助言が得られるし、心のどこかに安心感も得られます。これが会の価値ではと思っています。

★会員より

介護保険は、健康保険と違って持っていかばすぐ使える訳ではなく、なかなか複雑な制度です。家族の会に来られれば、じっくりご相談できると思います。お子さんたちと一緒に相談するのは、とても良いことだと思います。

★90代妻を在宅介護 80代夫

妻はレビー小体と診断されて13年半、5年前に容体悪化で看取り対応するために、施設から自宅へ移りましたが、まだ続いています。自分が妻より先に具合が悪くならないようにと思っています。振り返ると、一番最初に診断を受けたのはクリニックで、その後の施設のことなどの相談は難しかったです。そこで系列施設を持っている大きな病院に変え、ケアマネも見つかり、その後の介護サービス、入・退院や施設にも繋がりました。ただ、施設は自由が利かないので、結果的には自宅にしました。自分で考えたり相談したりと常に先手を打ってきたのが良かったかなと思っています。

★会員より

介護経験はありませんが、認知症についての情報を必要な方にお知らせできたらと参加しています。会報は作っている人たちの顔が見えるようで、毎月楽しみにしています。

★会員より

40年くらい前から入会しています。夫は3年前に天国へ行きましたが、いつも会報を楽しみにしています。町内会など知っている方などにも「なごみ」を渡して読んでもらっています。

★義父、母、娘を介護 介護施設経営者

中央区で認知症対応型デイサービスとケアマネジャーの会社を運営しています。札幌の義父は脳出血からの高次脳機能障害、東京の母はアルツハイマー型認知症、娘も義父と同じ高次脳機能障害のため、遠距離介護です。認知症の方を支援する専門職ですが、家族を介護するのは皆さんと同じで、やはり怒ってしまうなど家族の気持ちになってしまい抑えきれない部分もあります。また、施設経営者から見て、在宅介護では家族の方が元気であることと支援が一番大事だと思います。当施設では、家族とのコミュニケーションの一例としてラインを活用しています。施設での活動や食事の様子を送信したり、連絡や相談にも応じています。

★母親を介護 40代息子

69歳の母が診断を受けて6年経ち、最近入浴ができなくなり、要介護申請をするところです。入浴できるサービスを考えていますが、本人は行きたがりません。また、市内には入浴対応できる施設はたくさんあり、どういう基準で見たり決めたりすればいいか、全て見学や体験は困難ですので、皆さんのご意見をお聞きしたいです。

★包括支援センター職員より

包括では、要支援1・2の方はケアマネが担当し、要介護1以上は居宅介護支援事業所に紹介します。65歳以上の総合相談窓口もありますので、相談していただければと思います。入浴サービスは、私の祖母も行きたがらず、ケアマネさんが来たらコロッと納得しことができました。

5月のつどいご案内

【とき】2025年5月20日(火)13:30~15:30

【ところ】豊平区民センター3階 第1・2会議室 豊平区平岸6条10丁目

【最寄駅】地下鉄:南北線「平岸駅」あるいは「南平岸」、東豊線「美園駅」

※6月の「つどい」は北区で6月20日(金)に開催予定です。

ちょこっと学習会は
日常生活自立支援事業
の予定



皆さまゴールデンウィークはいかがお過ごしでしたか？

先月24日、第42回総会を無事開催することができました。6月の認知症のひろばに向けて準備をすすめています。本年度も会員の皆さまとともに活動できることを嬉しく思っています。

🌸 令和7年度総会議案書を同封します。

20頁に本年度の活動予定表を掲載しています。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

🌸 令和7年度「認知症のひろば」のご案内 

6月12日(木)10:30~15:00かでの2・7の10階1060会議室他で開催。

チラシを同封しました。お誘いあわせのうえ、皆さまのご参加をお待ちしています。

🌸 会費納入のお願い

同封の払込取扱票により、5月末日までに納入をお願いいたします。



🌸 北海道認知症の人を支える家族の会の会報を同封しました。ご覧ください。

🌸 入会会員・・・どうぞよろしくお祈いします。

M.Sさん(豊平区)



🌸 会員異動・・・これからもよろしくお祈いします。

R.Yさん(北海道医療大学) 一般会員から賛助個人会員へ

🌸 退会会員・・・どうぞお元気で。

T.Sさん(賛助)、M.Sさん(市外)、Y.Nさん(中央区)、O.Yさん(中央区)

🌸 5月・6月のミニサロンのお知らせ 🌸

🌸と き：5月14日(水)・6月11日(水)午後1:00~3:00

🌸ところ：かでの2・7 2階 ボランティアルーム

脳活のための楽しい企画も準備中です。

介護を終えたB会員さんの参加もお待ちしています。



🌸 4月の活動日誌

1日-会報「なごみ」発行・印刷・編集会議、2日-会報発送・事務局会議、8日-役員会、9日-ミニサロン、15日-監事監査・臨時役員会、22日-総会議案書印刷・丁合、24日-第42回総会・つどい(中央区)、25日-札幌市介護保険課訪問(大野ほか3名)、28日-札幌市立大学特別講義(大野)、30日-会報「なごみ」印刷・編集会議

井戸端サロン5月 ~仲間からの心にとまる話をご紹介します~

世話人を終えて



私が介護体験集を通して、家族の会を知ったのは、札幌家族の会がかでるに移る前のことでした。私は認知症の人に何か惹かれるところがあったのですが、子どもが小学生になり、そろそろ中断していたカウンセリングの勉強を再開しようかと、かでのを訪れた時、同じ建物に家族の会があることに気づきました。思い切って2階のボランティアルームに寄ったところ、当時会長だった飛嶋さんに優しく歓迎され、小学生の子どもが家に帰るまでの短い時間だけかでのに通うようになりました。世話人になったのは子どもが中学生になった時です。いろいろなイベントに参加させていただき、グループホームの外部評価等も経験しました。でも、A会員となり、夫の仕事も手伝うようになり、できる時だけの世話人でした。そして、10年ほど前に親を4人とも看取り終えたのですが、世話人をさせてもらっていたことで、忙しい中にもうまく介護のペースを保てた気がします。相談係となったのはその後のことです。少しは会の役に立っていたのなら良いかと心から思います。皆さんと活動するのは楽しく、たくさん学ばせてもらいました。ありがとうございました。 H. M